

喜界町

# 図書館だより

## 6月号



【通算 第240号】  
2016（平成28）年6月1日発行

〒891-6201  
喜界町大字赤連字樋口前30番地  
TEL：0997-65-0962  
FAX：0997-65-2523  
e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート

図書館からの  
プレゼント!

（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり  
心ふれあうひとときを持つきっかけづくりの  
お手伝い。

★受け取りは0歳児のみ。図書館にて随時受付。

## 《 子どもの日おはなし会 》

### ～ ミュージックシアターに合わせペープサートや指人形を楽しむ ～

4月30日（土）は、「子どもの日おはなし会」と古本リサイクル市が開催され、幼児から大人まで多くの町民が来館されました。例年行われている「子ども読書週間」にちなんで、子どもたちに、よい本やよい雑誌に親しむことをすすめ、読書の楽しみや喜びを知らせるために行われています。

図書館では、例年行われてきた「図書館フェスタ」を、今年度から「子どもの日おはなし会」に変えて行いました。当日は午前10時から夕方6時まで古本リサイクル市、午後2時から4時までは「おはなし会と映画鑑賞会」がありました。古本リサイクル市では、約600冊の本を町民の皆様方にリサイクルすることができました。また、おはなし会では、読み聞かせボランティア「ころころの会」メンバーと職員が出演。ペープサート（紙人形劇）や手袋人形を使ったミュージックシアター「春から初夏」にかけての風景をまとめた、オリジナルの物語が音楽に乗せて繰り広げられました。また、絵本の読み聞かせでは初めての試みとしてALTのマリオ先生が「金たろう」のおはなしをジェスチャーも入れながら英語で披露。子どもたちは聞き慣れない英語でのおはなしに興味深く聞いていました。

※喜界島の伝説（幼い時、母や祖父・祖母がオトギ話に語っていたおぼろげな記憶をもとに得た話である。）

〈ウガミ〉 昔、手久津久村の海岸で母親と娘が洗濯をしていると、沖の方から二つの島が海岸の方へ寄って来るのが見えた。驚いた母親がとっさの機転で、腰に巻いていた赤い腰巻を外すや、竹竿を高くかざして、向かいの島をめがけて一心に打ち振ったのである。と、意外にも島は動かなくなり、波は、島の方から沖へ白く飛び散って見えるではないか。ふつうの磯波とは、まったく反対の現象である。手久津久沖のウガミ礁は、かかるいわれがあるがどうだろうか？

ウガミは、嘉純の東方三里の地点にもあるが、大海にある「洲」（す：海の水面上に現れた所。岩礁）の称（呼び名）で、サワラや多くの漁族が集まる曾根（そね：海中の暗礁）ともいわれ、漁師の有難がる立派な漁場である。先年、サンゴも採取されたとか。ウガミ礁には、英船沈没の昔、金塊があったという話があったけれども見つからなかったようだ。【参考文献】：『喜界島古今物語』（三井喜禎 著）『広辞苑』（岩波書店）（文責：登山 典壽）

## お知らせ



## おねがい

### ☆ 大活字の本が新しく 入荷しました。

本の字は小さくてちょっと読み  
にくい方におすすめの本です。

- ・ 春告鳥（上下） 杉本章子 作
- ・ 手紙（上下） 東野圭吾 作
- ・ ヘッドライン（上下） 今野敏 作
- ・ 日月めぐる（上下） 諸田玲子 作
- ・ あとより恋の責めくらば（上下）  
竹田真砂子 作

他にも多数あります。  
ぜひ、図書館にお越しください。

### 募集中！

★ 読み聞かせボランティアグルー  
プ「おはなし会ころころ」が、読み聞  
かせボランティアを募集しています。

- ・ 2ヶ月1回の読み聞かせ
- ・ 年3回イベント行事の協力

興味のある方は、喜界町図書館まで  
ご連絡ください。  
☎0997-65-0962

### 本が泣いています。

※ 図書館の本は、皆様の税金で買  
われた本です。  
本にしるしをしたり、線を引いたり  
しないでください。

※ 汚れてしまった本、破れてしまっ  
た本は、窓口カウンターに返してください。  
（破れてしまった本は、そのまま持って  
きてください。）

### 喜界町図書館のホームページの閲覧について

※ 現在、マイナンバー制度の導入によるセキュリティ対策のため、喜界町図書館の  
ホームページが閲覧できない状態になっています。利用者の皆様には、大変不便を  
おかけしています。申し訳ございません。